

当日審査規定

1 表彰

最優秀作品として選定された1～2団体を表彰する。

2 審査の視点

(1) 地劇について

- ・ 地元の伝説や民話などを題材に盛り込んだ、地域色豊かな劇（地劇[※]）に相応しい題材であること
- ・ 県民に対し、それぞれの地域の伝説等を学ぶ機会を与え、地域への愛着・活性化に繋がると判断されること
- ・ 子どもから大人まで幅広い年齢層の方々が楽しめるよう工夫され、演じる「地劇」に多くの理解と賛同が得られる作品の品位であること
- ・ 神奈川県を代表する演目として、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会や 2019 年ラグビーワールドカップ日本大会開催時には、国内だけでなく、訪日外国人も引き付け、賑わいの創出を感じられるマグネット力（エンターテインメント）を有する可能性のあること

(2) ミュージカルについて

- ・ 芸術性・創造性（芸術的な質の高さ、新しい価値観等の創造）
- ・ 具体性（作品の内容が具体的で、しっかり伝えられていること）
- ・ 表現力（セリフ自体が歌や踊り、芝居と上手く融合して表現されていること）
- ・ 創意工夫（演出や構成（見せ方）に創意工夫が感じられ、より魅力ある作品として仕立て上げられていること）
- ・ 必然性（感情を表現すべき場所で、それを表現するための歌やダンスのシーンが盛り込まれている等、その歌やダンス等に必然性があること）

(3) 団体の能力について

- ・ 実現可能性（来年度実施予定の本公演等において、作品の完成及び公開が実現可能と判断されること）
- ・ 意欲的な姿勢（公演内容の充実を図る等の意欲的な姿勢が感じられること）

3 審査方法

- ・ 審査は4名で行い、「2 審査の視点」に基づいて審査する。
- ・ 各審査員が、1団体につき100点を持ち点とし、公演を鑑賞しながら仮採点を付ける。
- ・ 審査員は、それぞれの仮採点を基に協議（最終審査）を実施し、1位を選定する。
- ・ なお、点数は非公開とし、各団体への講評と1位の団体名のみ発表する。

※ 各地の歴史・伝統・文化に根差した地域発の演劇を意味する「地劇」は、神奈川県マグカル・テーブル座長を務めるマーケティングコンサルタントの西川りゅうじん氏による造語です。